

タンジン(丹参)



Photo by Takayoshi

学名：*Salvia miltiorrhiza*

名称由来：丹は朱色を意味し、参も薬用ニンジンのような赤い根っこを意味する。また、丹参の「丹」には、「赤」という意味の他に、「不老不死の薬」という意味がある。

科名：シソ科

属名：アキギリ属

生薬生産地：中国各地

形態：全株に黄白色の細毛がある。草丈は 30～80cm くらいになる。茎はクキクキ、葉は奇数羽状複葉で単葉で、鋸歯がある。5～8 月に青紫色の唇形花を総状花序につける。

成分：タンシノン (*tanshinone*)、クリプトタンシノン (*cryptotanshinone*)、タンシノール (*tanshinol*)

使用部位：*Salvia* 属植物の根で、一般に円柱形あるいは紡錘形に肥大し、薬用にはこの根を使用する。

使用目的：鎮痛、血液浄化薬として月経不順や生理痛、血管拡張、血流増加、血圧降下、抗血栓、動脈硬化の予防・改善に用いられる。

製剤：冠心Ⅱ号方…虚血性心疾患（狭心症・心筋梗塞）（丹参、川芎、赤芍、紅花、降香）

冠元顆粒…頭痛、頭重、肩こり、めまい、動悸（丹参、川芎、芍薬、紅花、木香、香附子）

禁忌：血の停滞がない場合は使用を避けること（出血性の患者には×）

根が朱色を呈することから、「赤参（セキジン）」の別名もあり、明代の李時珍(中国・明の医師で本草学者)は「人参は脾に入るから黄参といい、沙参は肺に入るから白参といい、玄参は腎に入るから黒参といい、牡蒙は肝に入るから紫参といい、丹参は心に入るから赤参という」などと色が異なる五参について述べている。

近年の科学的研究により、タンシノンは冠状動脈の循環に絶大な効果があり、狭心症などの症状を緩和し、心機能を改善することが確かめられた。中国では、単離された成分よりも生薬全体を、心臓発作から回復しつつある患者に使うことが多い。臨床的には、予防薬として用いるほうがより効果的とされている。

【参考文献】

最新薬用植物学 廣川書店

薬用植物学 南江堂 改正第六版

<http://www.hal.msn.to/kankaisetu/chuyaku133.html>